

松戸市交通ビッグデータ見える化協議会 第1回

2022年11月9日（水）



No	議題	内容
1	本協議会の枠組みと進め方	協議会の実施体制や進め方、協議会の実施メンバーについて整理。
2	松戸市の現状と課題	地勢や土地利用、人口等の地域の現状や、PT調査、センサス調査、都市計画道路の整備状況等の道路交通状況を整理し、松戸市における課題を整理。
3	交通ビッグデータを活用した渋滞及び事故の発生状況の分析	ETC2.0による旅行速度や急挙動の分析、県警事故データの分析等により松戸市内の渋滞及び事故の発生状況を整理。
4	課題箇所及び対策候補箇所の抽出と優先順位の考え方(案)	3の検討結果及び地元要望等から課題箇所を抽出するとともに、対策事業の有無等を踏まえ対策候補箇所を抽出。抽出した対策候補箇所から具体的な対策を検討する箇所を決めるための優先順位の考え方(案)を整理。

1. 本協議会の枠組みと進め方

～ 目次 ～

- (1)協議会の目的と体制……………1
- (2)協議会の進め方……………2
- (3)協議会のメンバー（案）……………4

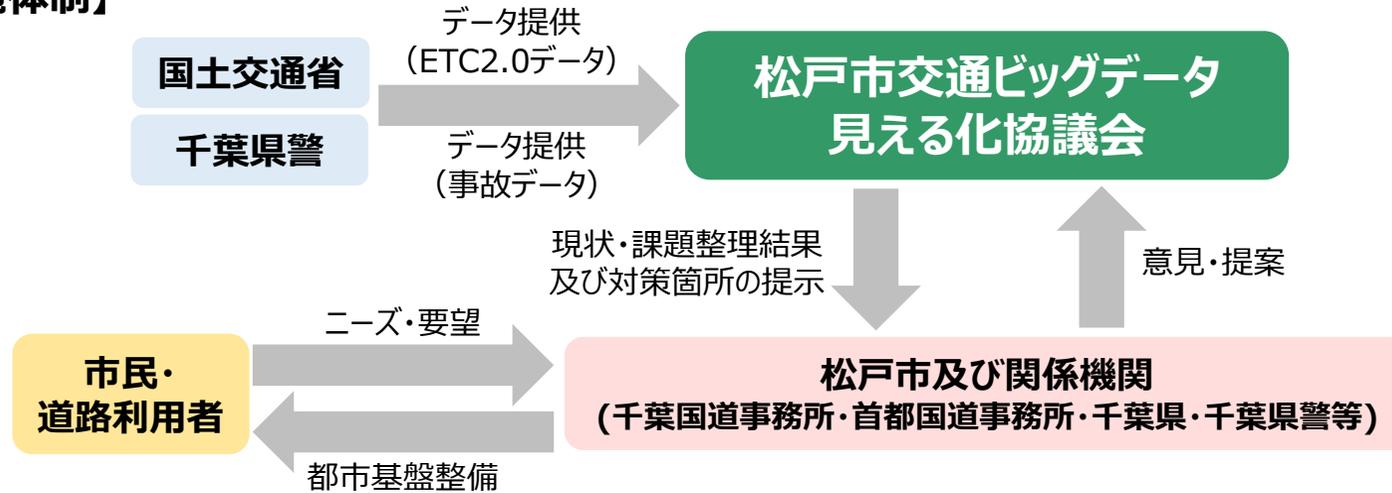
1. 本協議会の枠組みと進め方

(1) 協議会の目的と体制

【協議会の目的】 交通ビッグデータ（ETC2.0データ等）を活用し、効率的かつ効果的な渋滞対策及び安全対策を検討する。

- ① **問題**を見える化し、対策エリアや箇所を選定
- ② **要因**を見える化し、対策を立案
- ③ **効果**を見える化し、進捗管理や評価を実施

【協議会の実施体制】

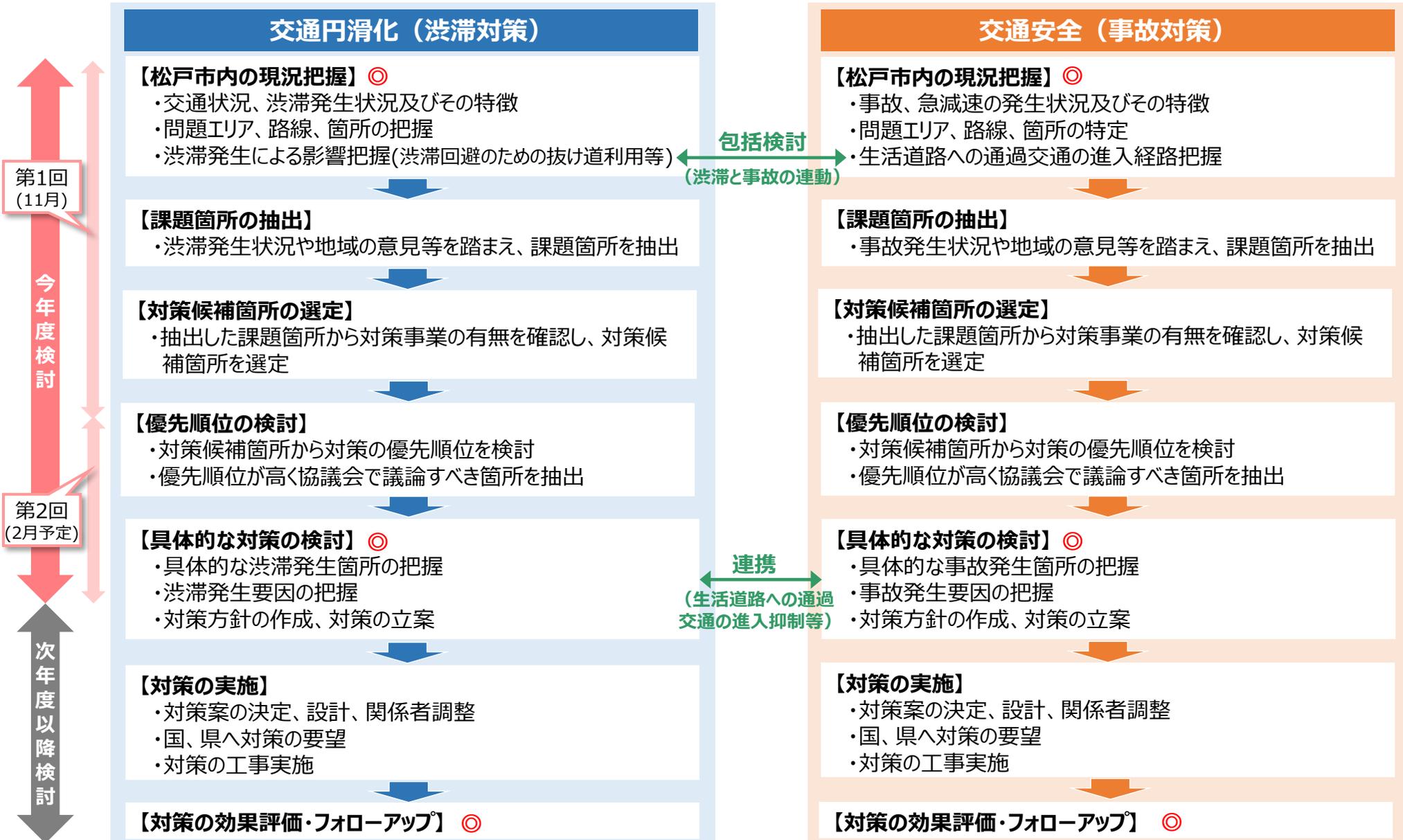


【協議会の主な検討内容】

	問題把握・要因分析	対策立案
交通円滑化 (渋滞対策)	ビッグデータ高度分析 (交通量・旅行速度等)	国県道：対策を要望、提案 市道：交差点改良・区画線・信号現示改良などを立案
交通安全 (事故対策)	ビッグデータ高度分析 (事故・急ブレーキ等)	国県道：対策を要望、提案 市道：物理的デバイス・路面標示などを立案

1. 本協議会の枠組みと進め方

(2) 協議会の進め方 (全体の流れ)



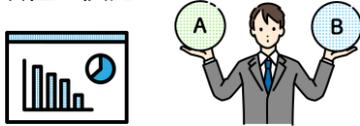
1. 本協議会の枠組みと進め方

(2) 協議会の進め方 (PDCA)

- 「松戸市交通ビッグデータ見える化協議会」では、以下のPDCAに継続的に取り組みながら、交通円滑化(渋滞対策)及び交通安全(事故対策)について検討していく。

【PLAN】

- ・松戸市内の渋滞、事故の現況把握
- ・課題箇所の抽出
- ・対策候補箇所の抽出
- ・優先順位の検討



【DO】

- ・詳細分析、調査
- ・対策立案
- ・対策実施
- ・国、県へ対策の要望



PLAN 交通円滑化 DO

交通安全
PDCA

ACTION CHECK

【ACTION】

- ・データ更新
- ・指標の改善
- ・課題や改善点の抽出・整理



【CHECK】

- ・対策の進捗状況の把握
- ・対策の効果評価、フォローアップ



1. 本協議会の枠組みと進め方

(3) 協議会のメンバー (案)

委員		
学識経験者	日本大学 理工学部 交通システム工学科	小早川 悟 教授
	日本大学 理工学部 交通システム工学科	石坂 哲宏 准教授
国土交通省	千葉国道事務所 計画課	課長
	千葉国道事務所 交通対策課	課長
	首都国道事務所 計画課	課長
	首都国道事務所 管理課	課長
千葉県	県土整備部 道路計画課 企画室	室長
	東葛飾土木事務所	次長
	東葛飾土木事務所 調整課	課長
千葉県警察	警察本部 交通規制課	係長
	松戸警察署 交通課	係長
	松戸東警察署 交通課	係長
松戸市	建設部 建設総務課	課長
	建設部 道路建設課	課長
	建設部 道路維持課	課長
	学校教育部 学務課 学校保健担当室	室長
	市民部 市民安全課	課長
	子ども部 保育課	課長